

学園点描

時々、きつい言葉で人を傷つけてしまう子がいます。どこかで見聞きしたことを真似ているのでしょうか。

《H学園》

NO.9

R7. 6. 19

担当：校長

6月15日（土）、17日（日）と、M上地区中体連総合大会が各会場で開催されました。外の競技は、雨の中の大会となりました。結果、女子バスケットボールで見事優勝に輝き県大会出場権を獲得しました。また、女子柔道でY・Iさんが準優勝となり県大会出場を決めました。県大会は、7月18日～22日の期間で県内各会場にて開催されます。

◇保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。いじめアンケートにお寄せいただいたご意見はすべて拝見し、今後の学校運営の参考にさせていただきます。ご指摘の中には、厳しいお声もあり、改めて課題に向き合う機会となりました。一方で、限られた人員や時間の中で、教職員も子どもたちのために日々尽力している現状についても、ご理解をいただけますと幸いです。

子どもたちを育てるうえで、学校と家庭が同じ方向を向いて歩むことが何より大切です。今後とも、温かなご支援をよろしく願いいたします。

さかなのなみだ

ある日、印刷室で3年B組担任のK先生と雑談になりました。

「GW中はどこか行かれましたか？」と聞くと、

「秋田県ですね。面白いところがあれば教えてください」とのお返事。

私は以前訪れた「秋田タワー」を紹介しましたが、後でK先生が秋田出身と気づき、「逆に教えてもらうべきだったな」と反省しました。

秋田タワーには、昔懐かしいうどんの自動販売機が移設されており、それを見に行っただけですが、たまたま、訪れたその日、展望台には“さかなクン”の描いた二枚の絵が置かれていました。“さかなクン”については多くの方が知っているでしょう。ハコフグの帽子をかぶって「ギョ、ギョ、ギョッ！」と言いながら、豊富な魚の知識と経験に裏付けられたトークをする人です。あるテレビの歌番組で、“さかなクン”が楽器のサクスを演奏していたのを見て、その多才さに驚かされました。何かのイベントで、ここ秋田タワーにやってきたみたいです。本物の“さかなクン”に逢ってみたいかなと思いつき、二枚の絵を眺めてきました。



秋田タワー展望台

この絵を見て、前に気になっていたトイレトペーパーを思い出しました。

そのトイレトペーパーとは、ただのトイレトペーパーじゃないです。トイレトペーパーを伸ばしていくとこんなことが書いてあります。

『中学時代のいじめも、小さな部活動でおきました。ぼくは、いじめる子たちに「なんで？」と聞けませんでした。でも仲間はずれにされた子と、よくさかな釣りに行きました。学校から離れて、海岸で一緒に糸をたれているだけで、その子はほっとした表情になっていました。話を聞いてあげたり、励ましたりできなかつたけれど、だれかが隣にいただけで安心できたのかもしれない。ぼくは変わりものですが、大自然の中、さかなに夢中になっていたら嫌なことも忘れます。大切な友だちができる時期、小さなカゴの中でだれかをいじめたり、悩んでいたとしても楽しい思い出は残りません。外には楽しいことがたくさんあるのもったいないですよ。広い空の下、広い海へ出てみましょう。』



これは、“さかなクン”が、中学時代に経験した、いじめについて書いているトイレトーパーなのです。その著書「さかなのなみだ」で、“さかなクン”が言っています。

『メジナという魚は、狭い水槽に入ると、必ず1匹仲間はずしを行います。仲間はずれになった1匹をすくって、別の水槽にいれると、今度はまた、別のメジナが仲間はずれに遭う、それを繰り返す。でも、メジナは海に出ると、まったくそんなことをしないのです。』

いじめは、狭い集団や、狭い人間関係の中でこそ発生する、それは魚も人間も同じなんだと、“さかなクン”は、考えたのです。だからこそ、もっと将来のことを考えたり、世の中のことを考えたり、たくさんの人と出会ったり、挑戦することが学校生活の時代には大切だと。たしかに、乱暴な言葉で人を傷つける子どもの世界はとても閉鎖的で、他の世界を体験しようともしません。

「僕は、音楽好きの人たちと出会ったことで、魚だけの世界から広い世界を知りました。」と、テレビの中の“さかなクン”は語っていました。さらに続けて・・・

「実は、高校に入学したとき『吹奏楽』部を『“水槽”楽』部と勘違いして入部したのがきっかけでした。」と。

出典：さかなのなみだ（リヨン社）

きりとりせん

ご意見・ご感想をお願いします。

[学校のトイレにいくつか置いておきます。](#)